

## 最近の機械貿易動向(5月)について～機械輸出の回復速度鈍化～

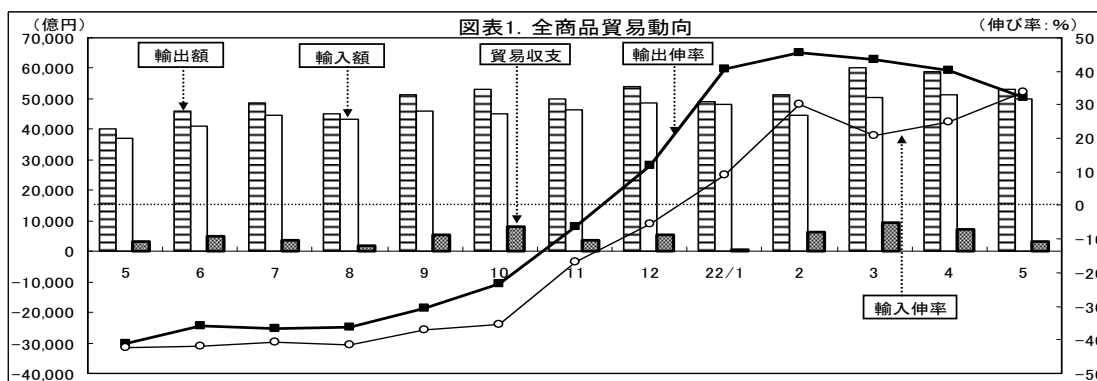
2010. 7. 21.

平成22年5月の機械輸出額は、3兆3,717億円、対前年同月比33.9%増と伸び率は大きく鈍化した。これはその他地域向けは更に拡大したが、NIES/ASEAN、中国、北米、EU 向けが軒並み伸び率を低下させたこと、業種では全体の1/3を占める自動車が44.6%増と伸び率を大きく鈍化させたことによる(4月は80%増)。この結果、5月の機械輸出額は、一昨年5月の75%と回復速度は後退している。

6月の機械輸出は、5月の実質伸び率が37%増と大きく落ち込んだこと、為替が4.2%の減少要因となることから約33%増となるものと予想される。因みに、6月上中旬の全商品輸出額は22.5%増である。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は32.1%増と高水準ながら3ヶ月連続で伸び率減少～

- 平成22年5月の全商品輸出額は**5兆3,098億円**、前年同月比(以下同じ)**32.1%増**と高水準ながら3ヶ月連続で伸び率を低下させている。商品別では、全輸出額の13%を占める鉄鋼等原料別製品(48.2%増)が更に拡大したが、21%の輸送用機器(42.5%増)、20%の一般機械(42.6%増)、19%の電気機器(20.2%増)は高い伸びとなったが伸び率を減じている。
- 輸入額は**4兆9,889億円**、**34%増**と前月を上回った。これは、全輸入額の28%を占める鉱物性燃料(51.2%増)、8%の非鉄金属鉱等の原料品(52.9%増)、9%の鉄・非鉄金属等原料別製品(48.2%増)、3%の輸送用機器(57.4%増)が高い伸びとなったためである。
- この結果、5月の貿易収支は、輸入の伸び率が輸出を大幅に上回ったため、7.6%増の3,209億円の黒字となった。

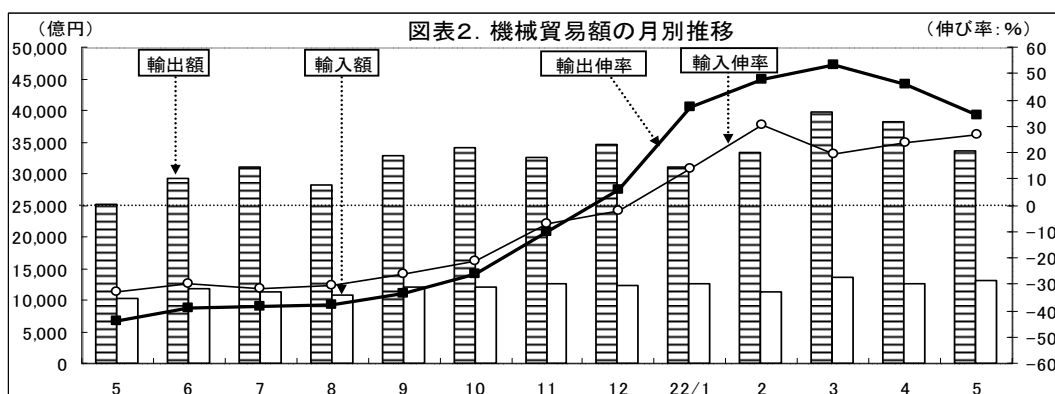


### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出33.9%増と2ヶ月連続で伸び率鈍化～

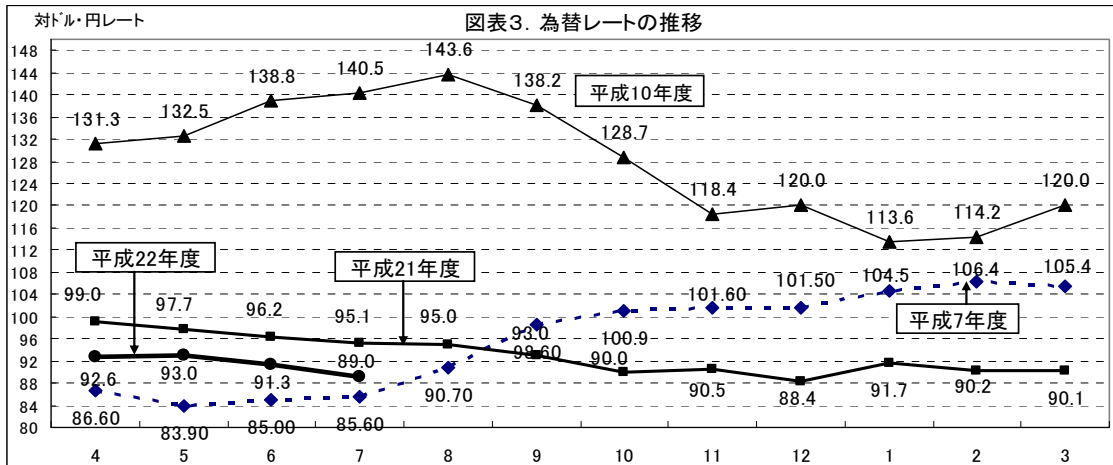
全商品輸出額の64%を占める5月の機械輸出額は**3兆3,717億円**、**33.9%増**と2ヶ月連続で伸び率を鈍化させた(4月45.8%増)。この輸出額は、一昨年5月の輸出額に比べ75%と回復速度を後退させている(4月82%)。

一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額は、**1兆3,086億円**、**26.9%増**と回復速度を高めている(4月23.6%増)。輸入額は、一昨年に比べ85%の水準である(4月83%)。



**(2) 為替動向・営業日～為替は5月は3.1%、6月は4.2%の減少要因、7月は大幅な減少要因～**

- ・5月は1ドル=93円と円高はやや緩んだが、前年が円高に推移したため前年比**4.8%の円高**となった。対ユーロではユーロ安から**7%の円高**となった。この結果、円建輸出額では**3.1%の減少要因**となる。営業日は、前年と同じである。5月の機械輸出伸び率は**33.9%増**であったが、実質は37%増と4月より大幅に低下した(4月は実質49.8%増)。
- ・6月は1ドル=91.3円と円高が再び強まったため、前年比**5.1%の円高**となった。対ユーロではユーロ安が強まり**16.6%の大幅な円高**となった。この結果、円建輸出額では**4.2%の減少要因**となる。営業日は、前年と同じである。**7月**は、対ドルが現状の89円とすれば**6.4%の円高**、対ユーロではユーロ安が続き現状の112円とすれば**15.9%の円高**となり、為替は円建輸出額額の**4.8%の減少要因**となる。また、営業日は前年より1日少ないので、**4.5%の減少要因**となる。あわせて**9.3%の減少要因**となる。



**(3) 地域別動向～その他地域向け最大の伸び、NIES/ASEAN、中国、北米、EU 向けは伸び率低下～**

・5月も全地域で二桁の増加となった。①最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の20%を占める**その他地域向け**で、ロシア・東欧、大洋州、中南米、アフリカ、インド向けが約50%増以上で、機種では約半分以上を占める自動車(94%増)と22%の船舶(71.8%増)が好調で**57.6%増**と最大の伸びとなった。次に伸びたのが、②30%と最大機械市場の**NIES/ASEAN向け**で、業種では産業機械、自動車、電子計測器が、仕向け国では、インドネシア、台湾、フィリピン、タイが好調で、**40.9%増**となった。③18%の**中国向け**は、産業機械、光学機械、乗用車、建設機械、工作機械、陸用内燃機関、繊維機械、電子計測器、ベアリングが好調であったが、自動車部品、民生用電子部品の伸びが低下し、**37.9%増**となった。④19%の**北米向け**は、輸出額の半分以上を占める自動車・同部品が24.2%増と伸び率を大幅に鈍化させ、また、電子計算機、重電機、原動力機械等がマイナスとなり、**16.8%増**に低下した。⑤13%の**欧州向け**は、建設機械、半導体製造装置が2倍以上となったが、自動車・同部品の伸び率が大きく鈍化、また、エアコン、デジカメがマイナスとなり、**13%増**と伸び率が大きく鈍化した。しかし、その他地域向け以外は軒並み伸び率を低下させた。

なお、各地域向け輸出額を世界金融危機以前の平成20年5月と比較すると中国向けは1を割り込み、その他地域、NIES/ASEAN、北米、EU向けも回復割合を後退させている。

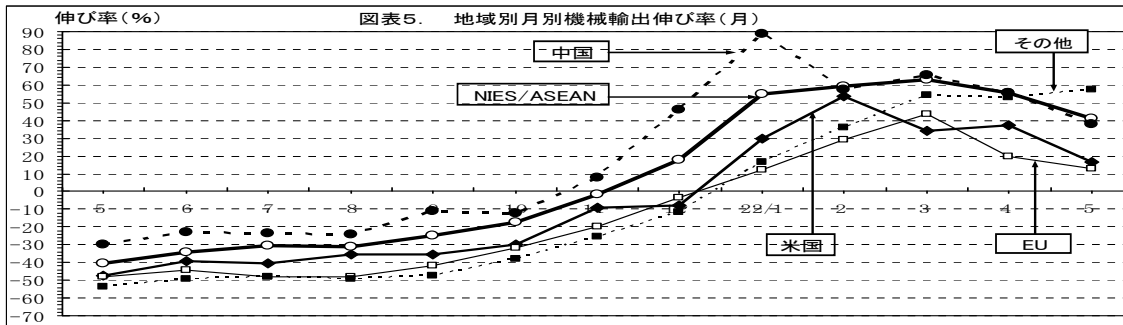
また、北米、EUの先進国向け輸出額が全体の31%であるの対し、アジア等新興国向けが69%を占めた。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/3			2010/4			2010/5			対08年5月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,816	53.1	100	38,319	45.8	100	33,717	33.9	100	0.75
北米	7,246	34.3	18.2	7,380	37.2	19.3	6,272	16.8	18.6	0.66
EU	4,779	43.7	12.0	4,825	19.5	12.6	4,329	13.0	12.8	0.59
NIES/ASEAN	11,707	63.2	29.4	11,329	55.8	29.6	10,107	40.9	30.0	0.86
中国	7,232	65.3	18.2	6,956	55.8	18.2	6,105	37.9	18.1	0.97
その他	8,851	54.3	22.2	7,830	52.7	20.4	6,903	57.6	20.5	0.68

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2010/2		2010/3		2010/4		2010/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,909	45.6	2,258	65.0	2,129	53.0	1,677	29.0
台湾	1,792	76.0	2,239	59.9	2,195	77.2	1,964	58.8
香港	1,404	28.8	1,959	63.4	1,859	31.0	1,835	26.8
タイ	1,347	75.3	1,443	64.2	1,500	74.1	1,391	55.7
シンガポール	1,014	59.5	1,282	70.6	1,123	26.4	860	13.0
インドネシア	691	120.0	848	148.5	784	140.4	777	83.9
マレーシア	704	81.3	812	15.5	842	53.8	752	46.1
フィリピン	467	63.4	514	78.6	565	69.1	550	58.8
ベトナム	246	24.1	311	43.3	294	38.5	269	18.2
その他地域								
中南米	2,649	31.2	3,232	37.8	2,564	48.7	2,634	59.7
中近東	1,474	21.6	2,005	69.8	1,372	28.7	1,228	48.2
大洋州	1,165	62.6	1,118	58.1	1,530	82.2	1,157	59.7
ロシア東欧等	754	51.1	983	82.1	935	61.2	894	66.6
アフリカ	695	19.3	978	68.9	880	37.8	600	55.2
インド	339	39.1	402	34.9	400	22.3	353	55.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～全 19 業種中 16 業種が二桁の伸びとなったが、自動車の伸びを大きく鈍化～

・業種別では、全 19 業種中 17 業種が前年比プラス、うち 16 業種が二桁以上の成長となり、全体的に順調に回復している。

全体の約 1/3 を占める自動車が 44.6%増と伸び率を鈍化させた(4 月 79.7%増)。高い伸びとなったのが繊維機械(2 倍)、工作機械(95.9%増)、建設機械(88.2%増)、産業車両(86.1%増)、陸用内燃機(81.1%増)で、いずれも世界経済不況で最も影響を受けた業種である。

一方、通信機器(17.9%減)、電子計算機(3.2%減)はマイナスとなった。

・なお、世界経済不況以前の平成 20 年5月の輸出額と比較すると、船舶、医療機械はそれを上回ったが、その他の業種は、建設機械、陸用内燃機関、農業機械、産業車両を除き前月を下回った。

図表7 上位20業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2010/3			機種名	2010/4			機種名	2010/5			対08/5比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	12,272	93.5	30.8	自動車	12,092	79.7	31.6	自動車	10,018	44.6	26.1	0.66
産業機械	6,910	41.2	17.4	産業機械	6,816	48.8	17.8	産業機械	6,062	38.7	15.8	0.84
電子デバイス	3,586	56.3	9.0	電子デバイス	3,634	35.6	9.5	電子デバイス	3,374	25.7	8.8	0.83
船舶	2,892	18.6	7.3	船舶	2,267	19.1	5.9	民生用電子機械	1,972	11.9	5.1	0.62
軽電気機械	2,152	62.8	5.4	民生用電子機械	2,177	11.9	5.7	軽電気機械	1,954	35.7	5.1	0.84
民生用電子機械	2,072	26.4	5.2	軽電気機械	2,110	44.9	5.5	船舶	1,853	40.8	4.8	1.29
重電気機械	1,973	48.3	5.0	重電気機械	1,793	30.1	4.7	重電気機械	1,714	18.8	4.5	0.83
光学機械	1,214	87.1	3.0	光学機械	1,279	60.9	3.3	光学機械	1,244	40.7	3.2	0.98
軽機械	1,190	41.9	3.0	軽機械	1,233	44.0	3.2	軽機械	1,088	32.9	2.8	0.65
建設機械	1,127	64.0	2.8	建設機械	980	87.0	2.6	建設機械	848	88.2	2.2	0.55
電子計算機	671	25.6	1.7	電子計算機	614	4.7	1.6	電子計算機	538	▲ 3.2	1.4	0.60
工作機械	625	36.5	1.6	通信機械	559	▲ 27.3	1.5	通信機械	512	▲ 17.9	1.3	0.56
通信機械	558	▲ 5.9	1.4	工作機械	479	69.9	1.3	工作機械	471	95.9	1.2	0.57
医療機械	369	6.0	0.9	ベアリング	358	84.6	0.9	ベアリング	317	62.3	0.8	0.94
陸用内燃機関	360	46.8	0.9	陸用内燃機関	341	61.0	0.9	陸用内燃機関	304	81.8	0.8	0.81
ベアリング	357	81.2	0.9	医療機械	277	5.4	0.7	医療機械	275	7.5	0.7	1.12
繊維機械	201	141.7	0.5	農業機械	176	28.1	0.5	繊維機械	177	100.2	0.5	0.71
農業機械	201	17.8	0.5	繊維機械	175	147.4	0.5	農業機械	154	18.5	0.4	0.77
産業車両	129	62.3	0.3	産業車両	110	69.8	0.3	産業車両	103	86.1	0.3	0.48
20業種合計	38,859		97.6	20業種合計	37,470		97.8	20業種合計	32,978		97.8	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カマ。

(5) 機種別動向～半導体等製造装置が3倍増、産業用ロボット、貨物車、繊維機械が2倍増～

・伸び率上位機種は、①韓国・台湾、中国、北米、ASEAN 向け半導体等製造装置(3倍)、②全世界向け産業用ロボット(2.2倍)、③その他地域、ASEAN 向け貨物自動車(2.1倍)、④中国、ASEAN、その他地域向け繊維機械(2倍)、⑤韓国・台湾、中国、北米、ASEAN 向け電子計測器(97.2%増)、⑥中国他世界向け工作機械(95.9%増)、⑦中国、その他地域、ASEAN 向け建設機械(88.2%増)、⑧その他地域、ASEAN、中国中心の産業車輛(86.1%増)、⑨中国、北米等全世界向け陸用内燃機関(81.8%増)、⑩中国他全世界向けベアリング(62.3%増)などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、携帯電話(87.2%減)、エアコン(77.1%減)、発電機(61.7%減)、運搬機械(19.6%減)、ラジオ(11.1%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円、前年比伸び率、10機種以内) (単位:億円)

2010/3			2010/4			2010/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電気・電子計測器	435	147.3	半導体等製造装置	1,545	191.3	半導体等製造装置	1,300	203.3
繊維機械	201	141.7	電子応用装置	28	171.3	産業用ロボット	69	122.1
乗用車	7,156	119.6	産業用ロボット	63	136.1	貨物自動車	587	109.8
半導体等製造装置	1,400	101.9	繊維機械	175	147.4	繊維機械	177	100.2
光学機械	1,214	87.1	貨物自動車	686	112.9	電気・電子計測器	366	97.2
ベアリング	357	81.2	乗用車	6,699	102.4	工作機械	471	95.9
自動車部品	3,771	79.0	電気・電子計測器	380	92.8	建設機械	848	88.2
貨物自動車	766	75.8	建設機械	980	87.0	産業車輛	103	86.1
建設機械	1,127	64.0	ベアリング	358	84.6	陸用内燃機関	304	81.8
白物家電	329	63.1	工作機械	479	69.9	ベアリング	317	62.3
機種合計	16,756	42.1%	機種合計	11,393	29.7%	機種合計	4,542	13.5%

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2010/3			2010/4			2010/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	4	▲ 91.2	携帯電話	3	▲ 91.2	携帯電話	3	▲ 87.2
エアコン	13	▲ 80.9	エアコン	14	▲ 74.1	エアコン	13	▲ 77.1
運搬機械	274	▲ 15.6	発電機	120	▲ 29.7	発電機	78	▲ 61.7
発電機	143	▲ 14.7	据置型VTR	10	▲ 13.3	運搬機械	174	▲ 19.6
						ラジオ	9	▲ 11.1
機種合計	430	1.1%	機種合計	144	0.4%	機種合計	274	0.8%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～5月は26.9%増で伸び率拡大、TV、自動車部品は2倍以上～

・5月の機械輸入額は26.9%増と伸び率を拡大した。その原因は、①前年の5月の落込みが32.8減と4月と同様大きかったこと、②二大輸入機種の電子デバイス、電子計算機が夫々29%増、42.8%増と高水準であったこと、③TV、自動車部品が2倍増以上、航空機、乗用車、携帯電話も50%以上の増加であったことによる。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、医療機器、TV、白物家電、携帯電話、時計、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、全体の40%と最大の輸入先の中国(39.3%増)、ASEAN(36.1%増)、北米(17.2%増)、韓国・台湾(27.1%増)、EU(0.1%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2010/2				2010/3				2010/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,553	35.6	13.7	電子計算機	1,865	15.9	13.8	電子計算機	1,735	13.5	13.7
電子デバイス	1,422	42.2	12.6	電子デバイス	1,776	47.9	13.1	電子デバイス	1,695	38.8	13.4
自動車部品	526	87.9	4.7	自動車部品	608	72.1	4.5	重電気機械	622	26.0	4.9
重電気機械	507	31.4	4.5	重電気機械	613	25.5	4.5	自動車部品	579	103.1	4.6
医療機器	452	25.3	4.0	医療機器	595	37.9	4.4	白物家電	471	▲ 3.2	3.7
白物家電	366	15.9	3.2	白物家電	399	▲ 3.3	2.9	乗用車	405	74.7	3.2
TV	352	175.8	3.1	TV	421	95.7	3.1	医療機器	387	3.3	3.1
民生電子部品	327	79.9	2.9	民生電子部品	364	44.4	2.7	TV	373	126.0	3.0
光学機械	306	45.1	2.7	光学機械	385	37.8	2.8	民生電子部品	351	48.3	2.8
携帯電話	256	47.4	2.3	携帯電話	263	35.1	1.9	航空機	304	▲ 4.6	2.4
乗用車	237	103.0	2.1	乗用車	468	13.7	3.5	光学機械	291	17.0	2.3
航空機	169	▲ 64.3	1.5	航空機	197	▲ 61.7	1.5	携帯電話	286	53.4	2.3
12機種合計	6,473		57.3	12機種合計	7,954		58.8	12機種合計	7,499		59.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械